

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (ブライル)	[31] 植物アグリサイエンスのいま！ (植物を科学する。農業を科学する。未来を科学する。)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物生産科学科 教授 櫻井 健二 (計4名)
授業概要	ヒトの営みに欠くことができない「食」、その「食」を支える農業、農業を科学する植物アグリサイエンスを深掘り。植物そのモノや植物由来のモノ、これらの新しいモノやモノづくりの技術の「いま」を紹介します。そして、その未来を語りましょう。		
授業方針	生物生産科学科の教員によるオムニバス形式の講義です。各授業終了後に、簡単な授業の感想レポートを書いていただきます。植物を対象とする生物学、植物に関連する仕事や産業、「食」だけではなく、「健康」や「美容」分野、農業に関心を持つ高校生の受講を期待しています。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス 共通施設棟 A211		
会場住所	秋田市下新城中野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1529 E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「植物アグリサイエンスで変わる魅力ある農業」 教授 藤 晋一 <u><8月8日（火）9:30~11:00></u> 植物を科学することで、その機能を巧みに利用した高機能作物の生産や物質（モノ）づくりが実現してきています。ここでは、これからの農業を魅力あるものにする植物アグリサイエンスを紹介します。</p> <p>第2講：「これからの新しい野菜の栽培方法の話をしよう！！」 教授 小川 敦史 <u><8月8日（火）11:10~12:40></u> 安全・安心で身体にいい農産物（高付加価値）を栽培するためには大きく分けて、「栽培学的手法」「育種学的手法」の二つがあります。この講義では人工的に栽培環境を調整して栄養成分を高めたり、食事制限のある人でも食べることでできるようにしたりした野菜の栽培方法を紹介します。</p> <p>第3講：「植物組織培養によるモノづくり～美しく、有用な植物の培養物～」 助教 川上 寛子 <u><8月9日（水）9:30~11:00></u> 人は日頃から健康や美容のために、「有用物質」を利用しています。私は植物を培養して、有用物質を効率的に生産するための研究をしています。講義では、実際に培養物を観察しながら、その不思議さ、美しさ、有用性を感じてみましょう。</p> <p>第4講：「レアプラントハンターによる「あきた伝統野菜」の発掘」 教授 櫻井 健二 <u><8月9日（水）11:10~12:40></u> 希少な植物である「あきた伝統野菜」（レアプラント）を探索し、それらに新しい価値を付与する活動は「レアプラントハンター」と呼ぶことができます。その「レアプラントハンター」の発掘活動を紹介します。</p> <p>第5講：「植物アグリサイエンスの未来を語り合おう！」 教授 櫻井 健二 <u><8月9日（水）13:20~14:50></u> 第1講～第4講までの内容を振り返り、興味深く感じた部分を受講生同士で共有して理解を深めると共に、植物を科学すること、農業を科学すること、未来を科学することの討論会を実施し、科目内容の理解を深めましょう。</p>			
その他	昼食は学内の売店やカフェテリア（食堂）が利用できます。		
テキスト	授業ごとに資料を配付します。		
参考文献			
関連科目	生物学、農学、農芸化学		